謹啓 御葉書正に落掌致しました。御病気なされし由 知らざる
とは以ての外 御見舞をも申上げず 却而種々と御詳細を申上げて
甚だ恐縮に存じます。 日本に帰り御快方に向はれる様
蔭ながら祈って居ります。 御蔭を以って小田部も旅券下
附されました 近々中渡米と出来る由、全く御力によるもの
で、本人も私も肝銘して何時か御厚恩の万一を酬いたい
と存じます。
何れ愚弟も近々中帰京に参ってますれば 重ねて御礼
を申し 御見舞申し上げます。
取不敢 御返事申上げ 年来の御厚情を御礼申上げます。

七月二十二日

カルガリ市
井手達郎

石丸様